

知事とJR東海・金子社長との会談（概要）

長野県建設部 リニア整備推進局

1 日 時：令和2年3月23日（月）16：15～17：15

2 会 場：長野県庁3階 特別応接室

3 概要

《挨拶》

○阿部知事

- ・金子社長、JR東海の皆様方には、大変お忙しい中長野県にお越しいただき、感謝する。
- ・リニア中央新幹線建設に大変精力的にお取り組みいただき、またこれまで私が直接お願いしたことについては、受け止めていただきながら工事の進捗をはかっていたことへ感謝する。
- ・リニア中央新幹線により、10年後、20年後の南信州、伊那谷地域は大きく変容する。我々としては、リニア中央新幹線を活用して、地域の活力を高めていくことが求められると思っている。
- ・地域にはいろいろな声が存在する。課題について真摯に向き合って取り組んでいただきたい。
- ・この事業を推進するには、地域の皆様のご理解とご協力が不可欠。協力して取り組んでほしい。
- ・リニアの話とは離れるが、長野県は台風19号災害や雪不足により、観光誘客にとってマイナスの状態が続いている。今も新型コロナウイルス対策で積極的な観光誘客はできない状況だが、改善された暁には一緒に観光振興に取り組んでほしい。

●JR東海金子社長

- ・中央新幹線計画の推進にあたり、阿部知事をはじめ、長野県の皆様には、日頃からご支援いただき、また、こうした意見交換の場を設けていただき感謝する。
- ・私どもも新型コロナウイルスにより大きな影響を受けているが、可能なタイミングになれば、観光の面でぜひ一緒になって頑張っていきたい。
- ・この1月には、宇野副社長以下のメンバーが、地元の市町村長の皆さんと、工事の進捗、発生土の問題などについて意見交換を行い、理解を深めることができた。また、今後一層工事が進むよう、ご協力をお願いさせていただいた。
- ・長野県内の工事について、南アルプストンネルの小渋川非常口においては、斜坑の

掘削が完了し、先進坑の掘削を進めている。釜沢非常口でも斜坑の掘削を開始した。伊那山地トンネル、中央アルプストンネルでも、準備工事を進めている。

- これから益々工事が本格化していくが、工事の安全、環境の保全、地域との連携にしっかりと取り組んでいく。

《懇談概要》

【環境保全】

○阿部知事

- 騒音について、リニア開業後直ちに環境基準を達成するよう、必要な対策を講じられたい。
- かねてから防音防災フードのお願いをしているが、地元からも防音防災フードの設置を強く望まれている。最大限、地元の意向に沿った形で防音防災フードの設置をしていただきたい。
- リニア走行時の低周波音、振動などを心配する方もいらっしゃると思っている。住民の不安が解消されるように、丁寧な説明を地元の皆様にしてほしい。
- 地元からは、水資源の調査の状況を随時把握できるようにしてほしいと御要望をいただいているので、対応についてご検討願いたい。
- また、工事に起因した様々な影響が生じた場合を想定した対応マニュアルを策定されたい。

●JR東海金子社長

- 騒音については、防音壁を基本に、現地の状況に合わせて、音源対策だけでなく土地利用対策、個別家屋対策も含めて総合的に判断して行っていくことになるので、県や市など地元自治体にもご協力をお願いしたい。
- 防音防災フードの設置を望まれる声強いことは承知しているが、リニアの場合は、明かり区間でも換気をする必要があり、また、全線を同じ基準で対応していかなければならない。
- 座光寺周辺については、飯田市とよくコミュニケーションをとって計画を固めていきたい。
- 低周波や振動なども含めて、地元の不安が無いように、しっかりと説明していく。
- 水資源については、しっかりと調査して、地元の方の生活に支障がないよう必要な対策を実施していく。また、対応マニュアルについては、飯田市からもお話を伺っており、作成に向けて具体的な話を調整していく。

【発生土】

○阿部知事

- ・検討中の発生土置き場候補地の調整を早く進め、確定箇所を増やしていただきたい。
- ・災害が多い地域でもあるので、地元の皆様は発生土置き場の安全性の確保や造成後の管理について、非常に懸念を持たれている方がいる。地元の意向を反映した形で協議を進めていただきたい。安全・安心という観点から、しっかり取り組んでほしい。

●JR東海金子社長

- ・発生土置き場の候補地については、県から順次、情報提供をいただき感謝している。
- ・1月の地元の市町村長の皆さんとの意見交換会以降、2月に大鹿村の青木川の発生土置き場が追加で確定となり、現時点で5箇所が確定している。それ以外に、約30箇所調整を進めているが、私どももなるべく早く確定していきたいと考えており、引き続き調整を進めていく。
- ・過去の三六災害などの経験から、ご心配の声をいただいていることは承知している。
- ・発生土置き場の管理については、地元のご意向を踏まえ、ケースによっては造成後も当社が引き続き管理することも含め、ご安心いただけるよう対応していく。

【運搬ルート】

○阿部知事

- ・これからリニア工事に伴って、発生土の運搬が必要になってくると思うが、今後はJR東海以外の工事との調整が必要である。関係機関と連携して計画すること。

●JR東海金子社長

- ・県の飯田建設事務所をはじめ、地元自治体などと調整して、地元の方々に不安のないよう対応していく。

【現地体制の強化】

○阿部知事

- ・体制の充実を図っていただき、感謝。引き続き、現場の職員の体制強化という観点を念頭において検討いただければありがたい。
- ・社員の皆さんが地域の行事に参加されるなど、最初の頃と比べて顔の見える関係ができてきてありがたいというご意見をお持ちの方もいて、そのことは大変ありがたい。
- ・一方で、地元の対策委員会などで説明した工程が、あとで変更になるという話も聞いている。情報共有を密に行っていただき、丁寧なやりとり、情報共有をお願いしたい。

●JR東海金子社長

- ・工事の設計と発注は名古屋の事務所で実施しているが、施工の段階になれば施工管

理に重点が移っていくので、工事事務所の人員が増えていくことになる。

- ・しっかりと情報共有をしなければいけないと考えている。協議会などの対話の場や、地元の広報誌を活用させていただきながら対応していく。

【観光振興への協力】

○阿部知事

- ・長野県は、令和元年東日本台風（台風 19 号災害）に加え、今冬の雪不足、新型コロナウイルスにより、観光をはじめとする産業全体に、大きな打撃を受けている。
- ・新型コロナウイルスを早く収束させて次のステップに行くようにと思っているが、見通しはなかなか立たない状況。
- ・工夫しながら考えられることもあると思うので、観光振興についてもご協力いただければと思う。

●JR東海金子社長

- ・今も、名古屋駅のサイネージで長野県の宣伝をさせていただいているが、実際に、観光振興の取り組みを動かすことが可能なタイミングが来たら、一緒に力を合わせて、観光を盛り上げたいと思う。

【その他】

○阿部知事

- ・一昨年も要望したが、今後のダイヤ編成に向けて、リニア開業時には長野県駅へ上下それぞれ1時間に1本以上の停車を確保していただきたいということを、改めて要望したい。

●JR東海金子社長

- ・ご要望は伺ったが、停車本数は開業時期が近づいた段階で決めていくことになる。